



まちだの新たな
学校づくり

Machida New Concept School 2040

薬師・金井地区統合新設中学校 意見交換会

2025年6月14日(土)・26日(木)・28日(土)

学校教育部新たな学校づくり推進課

次第

- 1 新たな学校づくり推進計画
- 2 薬師・金井地区の統合について
- 3 各担当課による説明資料

1-1 新たな学校づくり推進計画策定の背景

1970～2019年

1960～70年代 学校大量建設
1980年代 児童・生徒が過去最大
2000年代 学校統合時代



2020～2021年

ICTの積極的活用
英語の教科化
教員の多忙化
地域と学校の協働



2022～2040年

～2040年 児童生徒数が約30%減少
2024～2044年代 築60年を超える学校が続出



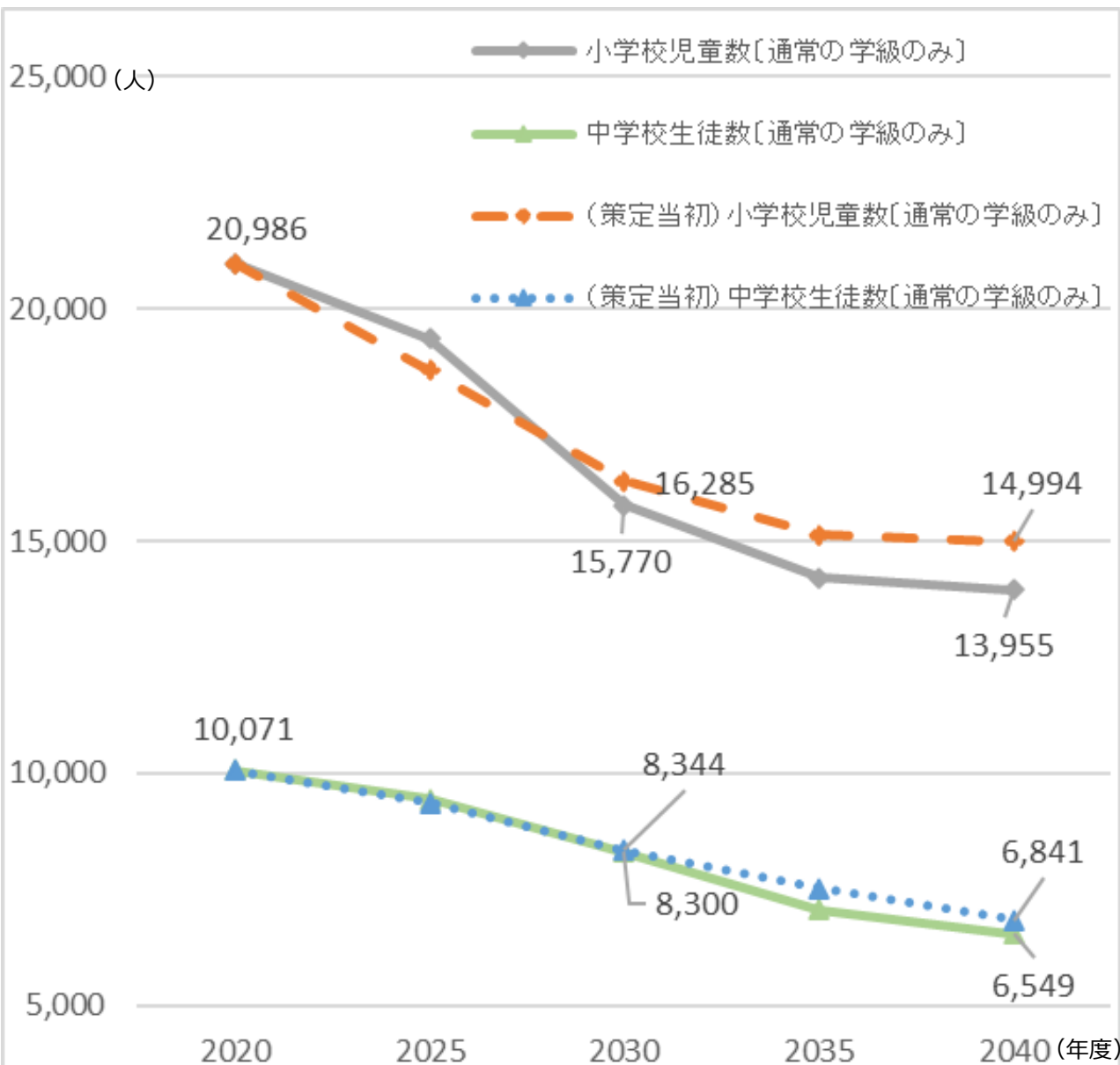
(1) 児童・生徒数の急激な減少

(2) 学校施設の老朽化・
施設整備費の高騰

(3) 教育環境の変化

(1) 児童・生徒数の急激な減少

2020年度と2024年度の児童・生徒数推計の比較



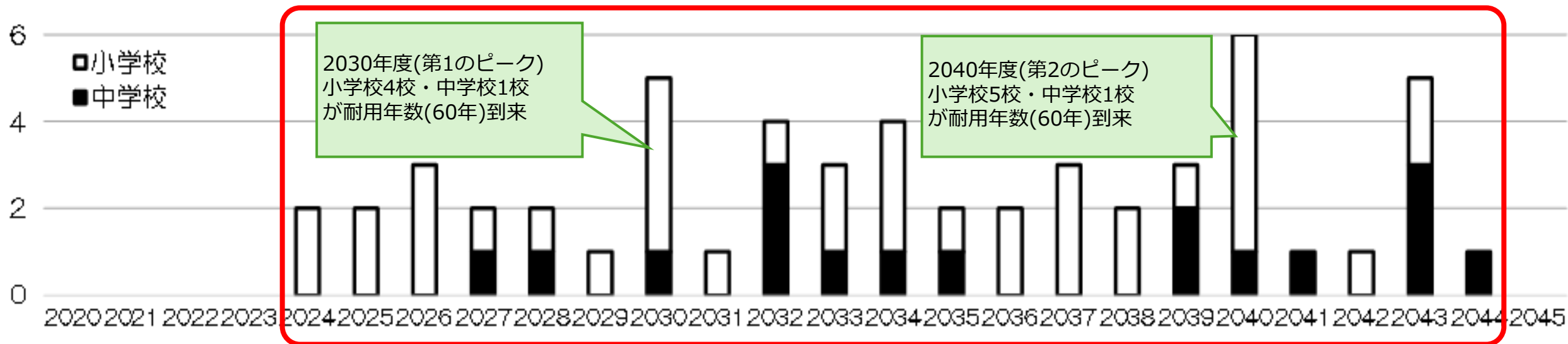
計画策定時に実施した、
2020年度児童・生徒数推計を上回るペースで、児童・生徒数の減少が進んでいる

2020年度推計と2024年度推計における
児童数・生徒数の減少割合（2020→2040）

	2020年度推計		2024年度推計
児童数	約30%減	→	約 33%減
生徒数	約32%減		約 35%減

(2) 学校施設の老朽化・施設整備費の高騰

町田市立学校施設の耐用年数（60年）の到来時期（2020～2045年度）



2024～2044年度（21年間）は、
1年あたり平均2.62校が耐用年数(60年)到来

2044年度までに**築60年**が到来する学校が**62校中55校**。

市内すべての小・中学校を統合することなく、建替え・改修等を行うためには、

2021年度から2055年度までに**約3,075億円**（2021年5月計画策定時点）が必要と試算。

⇒市内全ての学校施設を維持しながら教育環境を充実させることが困難

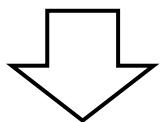
2021年度の計画策定以降、急激な施設整備費の高騰が生じている。

2021年度から2055年度までの建替え・改修に係る費用の試算

※2024年度教育委員会試算

学校統合をしない場合

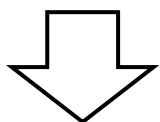
2021年度
(計画策定当初) 約3,075億円



2024年度 ※ **約6,980億円 (約2.3倍)**

学校統合をした場合

2021年度
(計画策定当初) 約2,540億円



2024年度 ※ **約4,540億円 (約1.8倍)**



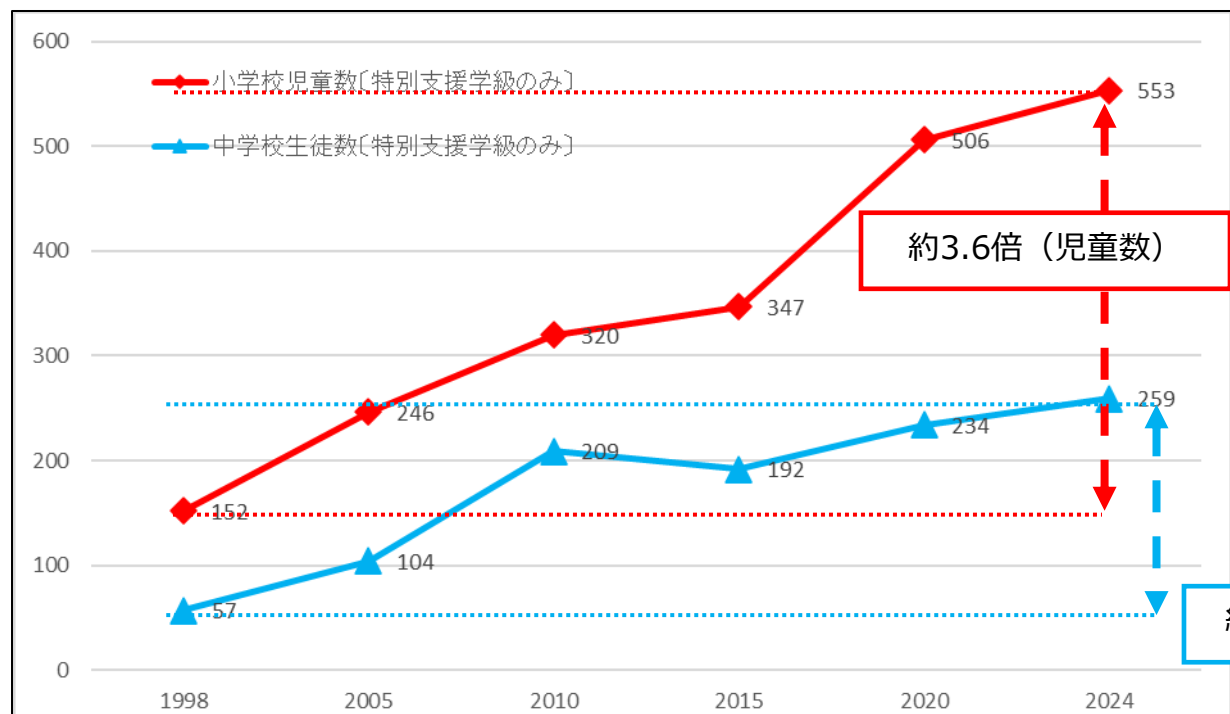
(3) 教育環境の変化

●学習指導要領の改訂

- ・主体的・対話的で深い学びの視点から、「どのように学ぶか」を重視した授業改善へ
- ・将来の教育内容及び方法等の変化を予測することは困難

⇒**教育内容や環境変化に柔軟に対応できる学校づくりが必要**

●特別支援学級の環境整備

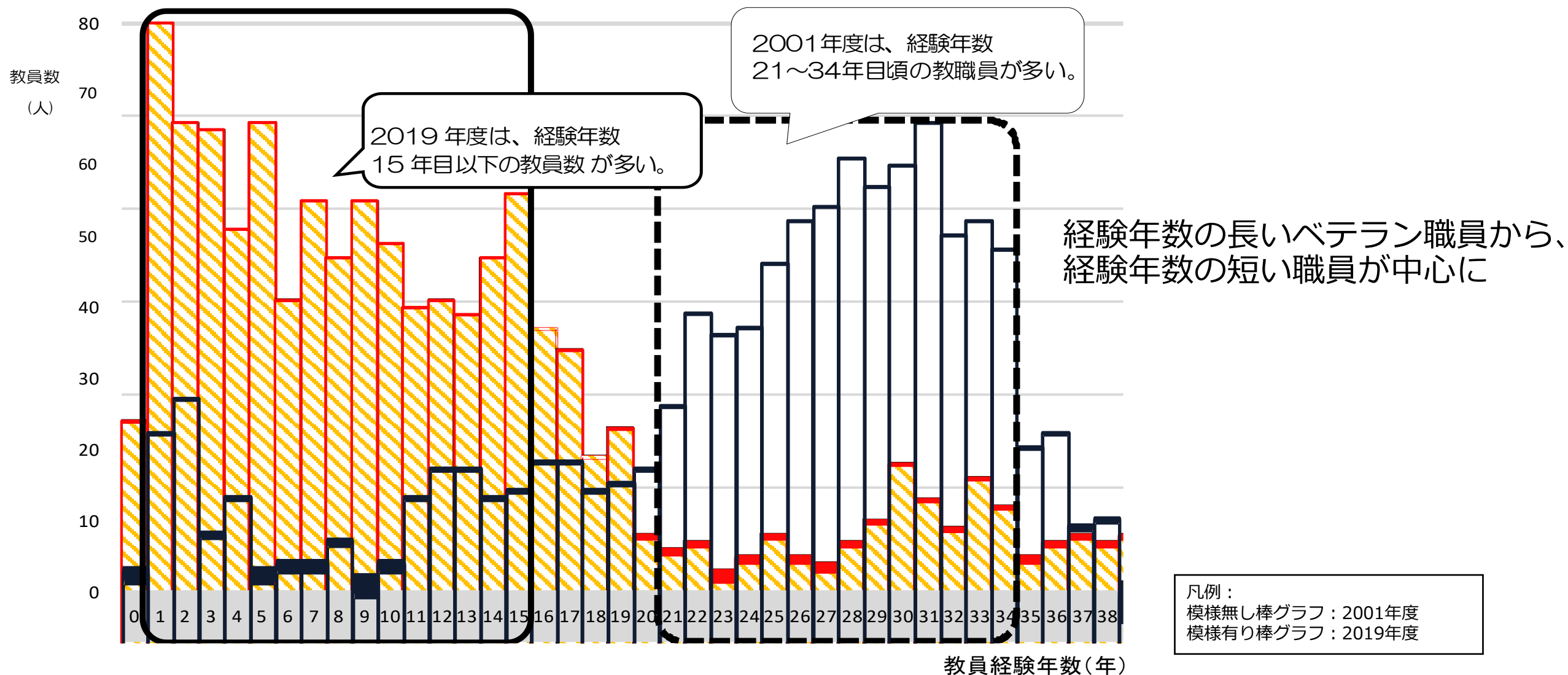


多くの学校では、設計した時点で特別支援教育を想定していない

⇒**余裕教室等を活用する機会が多く、
教室数・広さ・配置等に十分な配慮ができていない**

●学校を支えるチーム体制の推進

図：町田市立小学校教員 経験年数別教員数の分布比較（2001年度→2019年度）



1-2 新たな学校づくり推進計画

目的

- 将来の変化を予測することが困難な時代への対応
- 環境変化や学校教育にかかる諸制度の改正への対応
- 町田に生まれ育つ未来の子どもたちが夢や志をもち、未来を切り拓くために必要な資質・能力を育む

⇒これらの実現に向けて教育環境を整備する



町田市立学校の**適正規模・適正配置**に関する基本的な考え方

「町田の未来の子どもたち」の視点に立つ

- 10年後、20年後に町田に生まれ育つ未来の子どもたちのために、ソフト・ハードの両面からより良い教育環境をつくる
- 学校統合は目的ではなく、学校を取り巻く環境変化を踏まえて、より良い教育環境をつくるための手段



適正規模の基本的な考え方

小学校と中学校の望ましい学級数の設定

- 小学校 **1 学年あたり 3 ～ 4 学級** （1 校あたり 18 ～ 24 学級）
- 中学校 **1 学年あたり 4 ～ 6 学級** （1 校あたり 12 ～ 18 学級）



適正配置の基本的な考え方

次の5つの項目を総合的に検討し、新たな通学区域と学校の位置を決定

(1) 通学時間及び通学距離

通学時間の許容範囲…おおむね**30分程度**を目安

通学距離の許容範囲…徒歩でおおむね**2km程度**を目安

(2) 安全な通学環境

通学路の点検や地域との連携による見守り活動

子どもたちへの安全教育の実施

(3) 地域社会との関係

原則として町区域に基づく学区域とする

地域コミュニティにおける様々な活動との関係

(4) 小・中学校区の整合

1つの小学校から複数の中学校へ分かれて進学することが無いようにする

(5) 通学区域内における 学校の位置

児童・生徒の通学のしやすさ

ゆとりある教育環境の整備

学校施設の老朽化の現状

地域活用型学校について

市民生活の拠点づくりを目指す

Ⅱ

「地域活用型学校」

- 有事の際の防災拠点である
- 多様な人々がつどい、スポーツ・生涯学習・地域活動等を通じて交流し活動する
- 子どもが放課後に、学習や創作活動などの活動ができる
- 多機能化や複合化、愛着ある地域拠点施設とする



➡ 学校を学校教育の場というこれまでの考え方にとどめず、新たに「地域活用型学校」として位置づけ、より広く市民が利用できる場にする

2 薬師・金井地区の統合について

(1)統合スケジュール

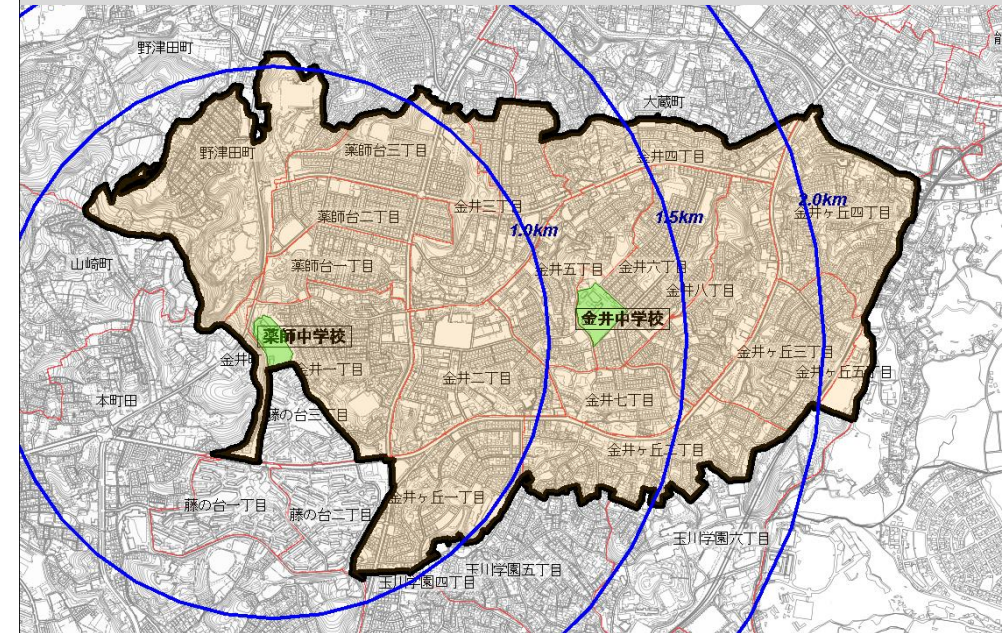
	2025年度		2026年度	2027年度	【統合】 2028年度	2029年度	2030年度	【引越】 2031年度
統合に向けた準備	意見 交換会	基本計画 検討会		新たな学校づくり推進協議会				
薬師中学校								
	既存校舎			既存校舎 改修工事	仮校舎			
金井中学校								
	既存校舎			統合	新校舎リニューアル工事			リニューアル校舎 使用開始
2012(平成24)年度生まれ	中1	中2	中3					
2013(平成25)年度生まれ	小6	中1	中2		中3			
2014(平成26)年度生まれ	小5	小6	中1		中2	中3		
2015(平成27)年度生まれ	小4	小5	小6		中1	中2	中3	
2016(平成28)年度生まれ	小3	小4	小5		小6	中1	中2	中3
2017(平成29)年度生まれ	小2	小3	小4		小5	小6	中1	中2
2018(平成30)年度生まれ	小1	小2	小3		小4	小5	小6	中1

(2)学校の候補地について

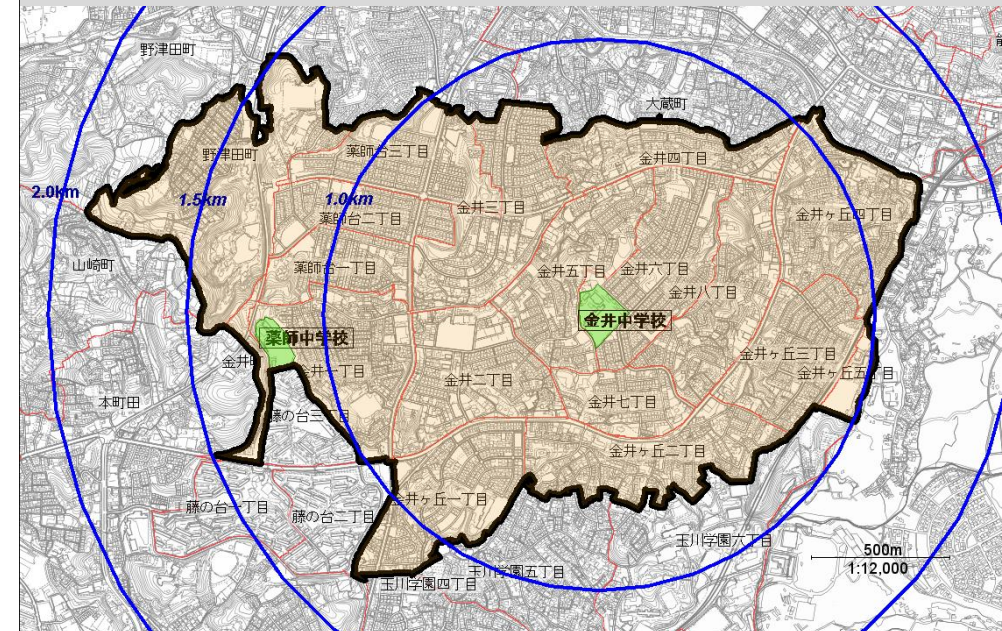
学校名（候補地名）		薬師中学校	金井中学校		
学校候補地			○		
評価項目 児童・生徒の通学のしやすさ	優先順位	2位	1位		
	候補地から直線距離で2km(徒歩で約30分)超の場所に居住する生徒	12.1%	0.0%		
		74人	0人		
		2kmを超える生徒への配慮	配慮可能	該当なし	
		候補地から直線距離で1km(徒歩で約15分)以内の場所に居住する生徒	39.6%	82.1%	
			243人	503人	
1km～2kmの生徒への配慮	配慮可能	配慮可能			
評価項目 ゆとりある学校施設環境の整備	優先順位	1位	1位		
	面積	面積（㎡）	15,533	19,943	
		建築制限	主たる用途地域	第一種中高層住居	第一種低層住居
	容積率		100%	80%	
		施設配置の工夫のしやすさ	土地の形状	整形	整形
			土地の高低差	無	無
			日影の影響	中	中
		都市計画道路	該当なし	該当なし	
老朽化の状況	2000年度以降建築	該当なし	該当なし		

※2021年度策定「町田市新たな学校づくり推進計画」の策定について（答申）より抜粋
 ※金井小・藤の台小の統合は金井スポーツ広場の位置を予定しており、2033年度以降に基本計画を着手する時期を検討していきます。

2028年度～2030年度(仮校舎期間の通学先)



2031年度～(リニューアル工事後の通学先)

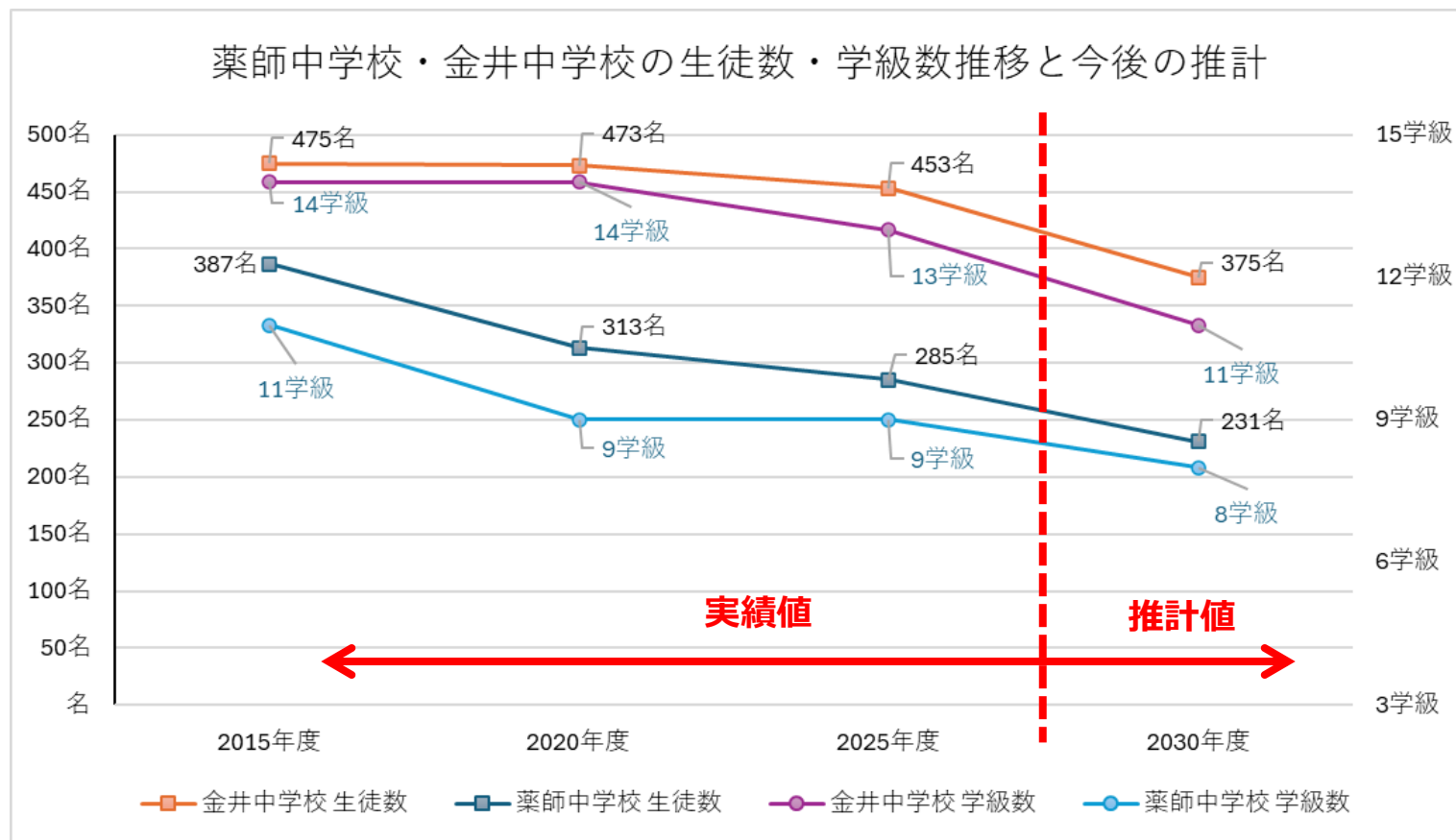


(3)生徒数・学級数について

学校名	通常の学級 生徒数(学級数)		特別支援学級 生徒数(学級数)	
	2025年度	2028年度	種別	2025年度
薬師中学校	285(9)	600名程度 (17)	知的障がい学級	19(3)
金井中学校	453(13)		無し	—

※「2025年度」は4月7日時点の生徒数と学級数です。

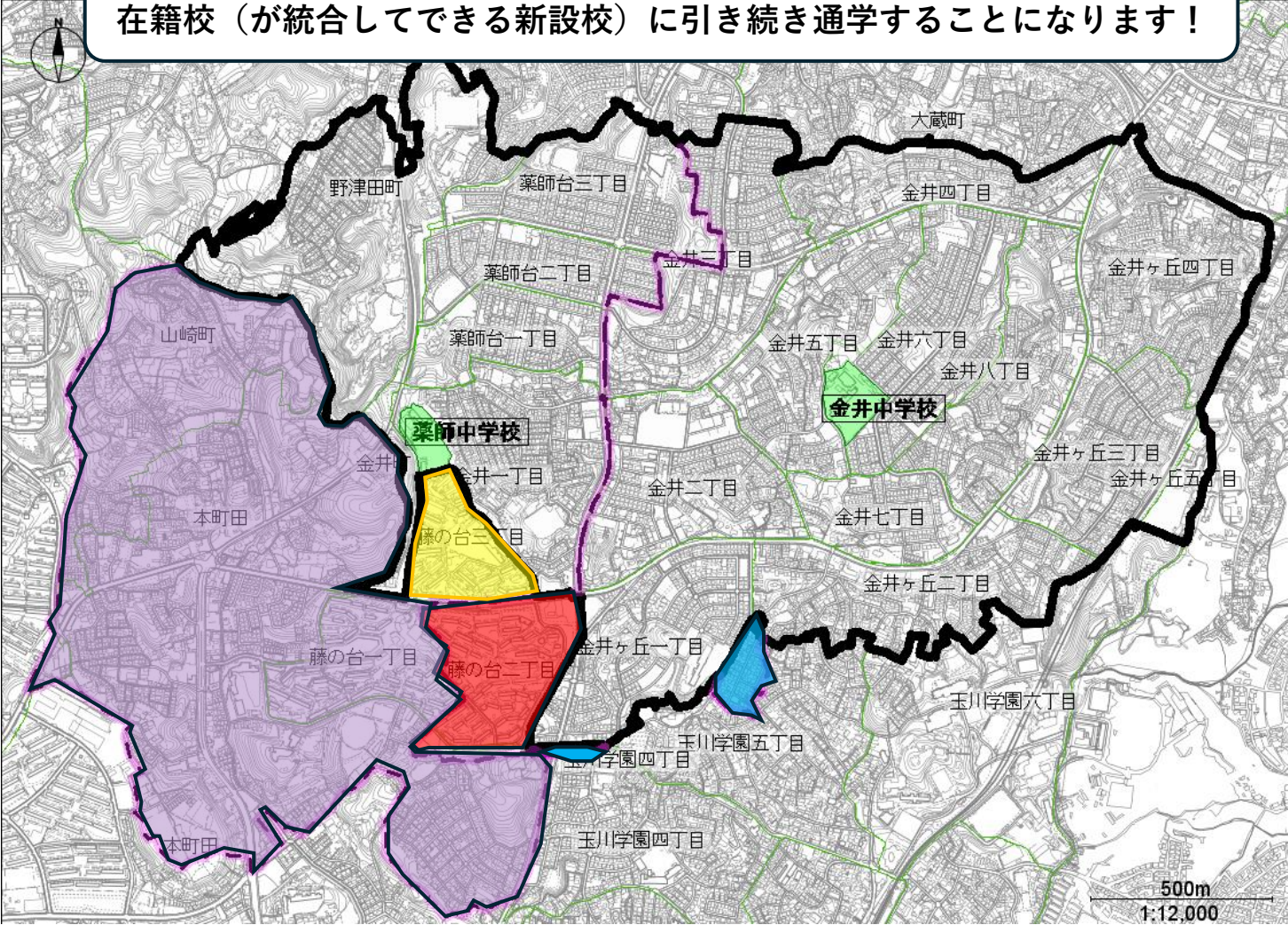
※「2028年度」の生徒数・学級数は学務課が2024年度に行った推計になります。



3-1 学校教育課学務課

(1) 新しい通学区域について

中学校の在学期間中に通学区域が変更になる場合は、変更後も在籍校（が統合してできる新設校）に引き続き通学することになります！



現在の中学校	町区域	変更年度	変更後の通学先	地図
薬師中学校	・ 金井町 ・ 金井 1 丁目 ・ 薬師台 1 丁目～ 3 丁目 ・ 野津田町（一部）	2028年度	薬師・金井地区 統合中学校	無色
	・ 山崎町（一部）	2026年度	山崎中学校	紫色
		2033年度	本町田・山崎地区 統合中学校	
	・ 本町田（一部）	2026年度	町田第三中学校	
		2033年度	本町田・山崎地区 統合中学校	
	・ 藤の台 1 丁目	2026年度	町田第三中学校	
		2033年度	本町田・山崎地区 統合中学校	
	・ 藤の台 3 丁目	2028年度	薬師・金井地区 統合中学校	黄色
時期未定 ※		本町田・山崎地区 統合中学校		
金井中学校	・ 金井 2 丁目～ 8 丁目 ・ 金井ヶ丘 1 丁目～ 5 丁目	2028年度	薬師・金井地区 統合中学校	無色
	・ 藤の台 2 丁目 ・ 本町田（一部）	2028年度	薬師・金井地区 統合中学校	赤色
		2029年度	町田第三中学校	
		2033年度	本町田・山崎地区 統合中学校	
	玉川学園 4 丁目・ 5 丁目（一部）	2028年度	薬師・金井地区 統合中学校	水色

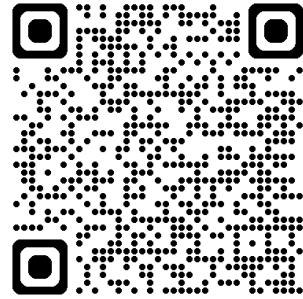
※通学区域の変更年度が「時期未定」としている町区域については、2033年度以降に改めて社会環境の変化を踏まえた実現可能性を検討いたします。

(2) 学区外通学制度について（入学前年度に申請が必要）

指定校以外の中学校に進学を希望される場合は、
入学前年度に申請が必要です。
以下2つの制度をご確認ください。

① 就学指定校変更制度

- ・該当する事由がある場合は、希望する学校への通学が可能
(例) 兄弟姉妹関係、転居予定

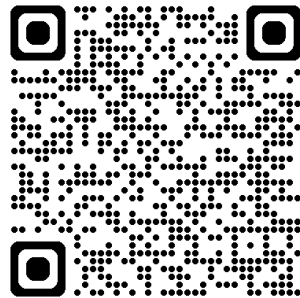


該当する事由がない場合は…

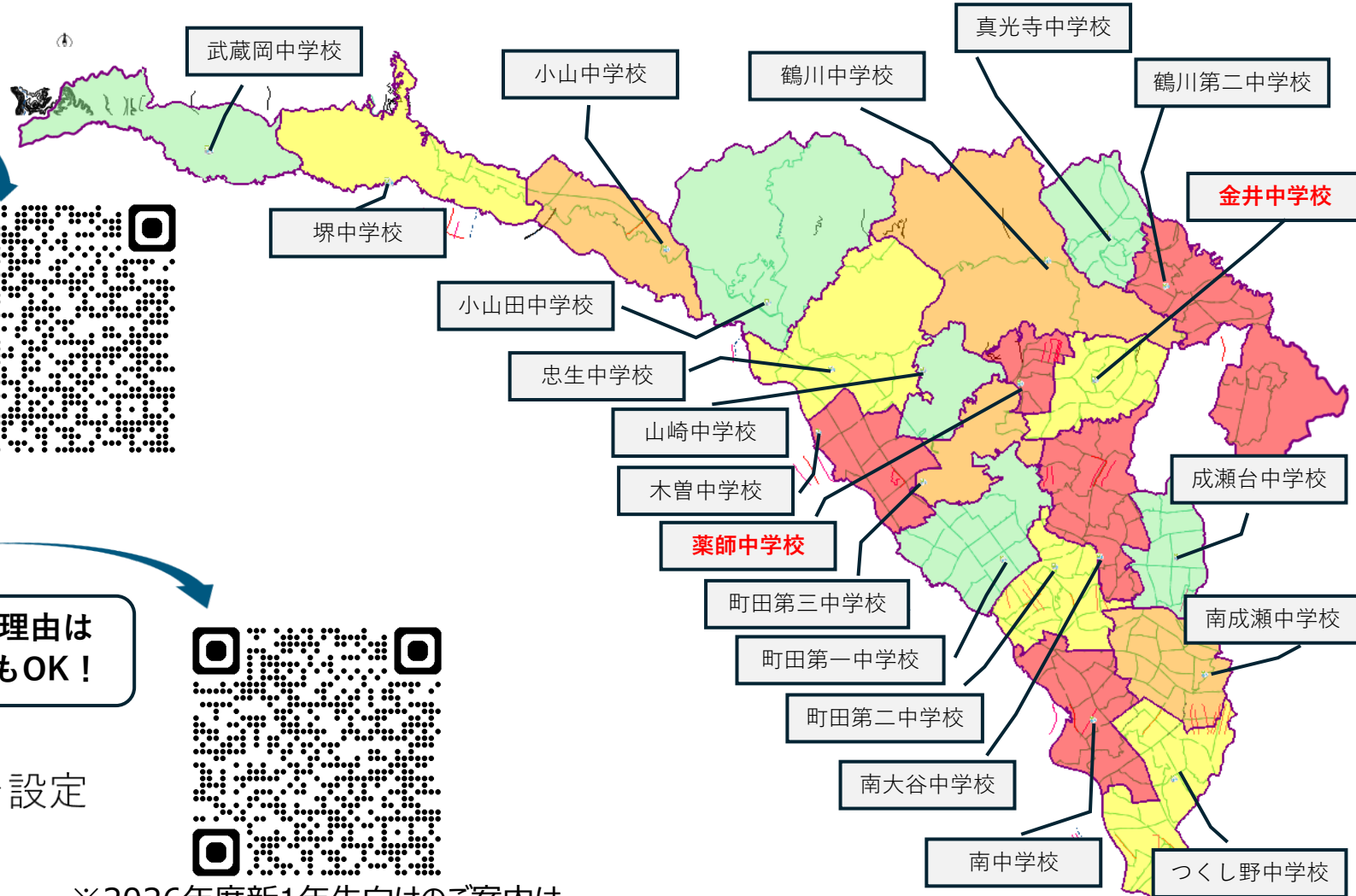
② 通学区域緩和制度

- ・市内全域の中学校から選択可能
 - ・各校、受入枠（受入れ可能な人数）を設定
- ⇒ 受入枠を超過する申請があった場合は、公開抽選を行う場合があります。

希望理由は何でもOK！



※2026年度新1年生向けのご案内は
2025年8月上旬に掲載いたします。



(3) 学校統合に向けた学区外通学制度について

【2028～2030年度】

現金井中学区の生徒は現薬師中学校の校舎位置に通学先が変更

①金井ヶ丘4丁目の特例措置

申請すれば鶴川第二中学校に入学できます。

金井ヶ丘4丁目	2026～2030年度の 入学者	2031年度以降の 入学者
指定校	金井薬師統合新設校 (校舎位置：現薬師中学校)	金井薬師統合新設校 (校舎位置：現金井中学校)
特認校 (選択可能)	鶴川第二中学校	

②その他の地域の特例措置

自宅からの通学距離が…

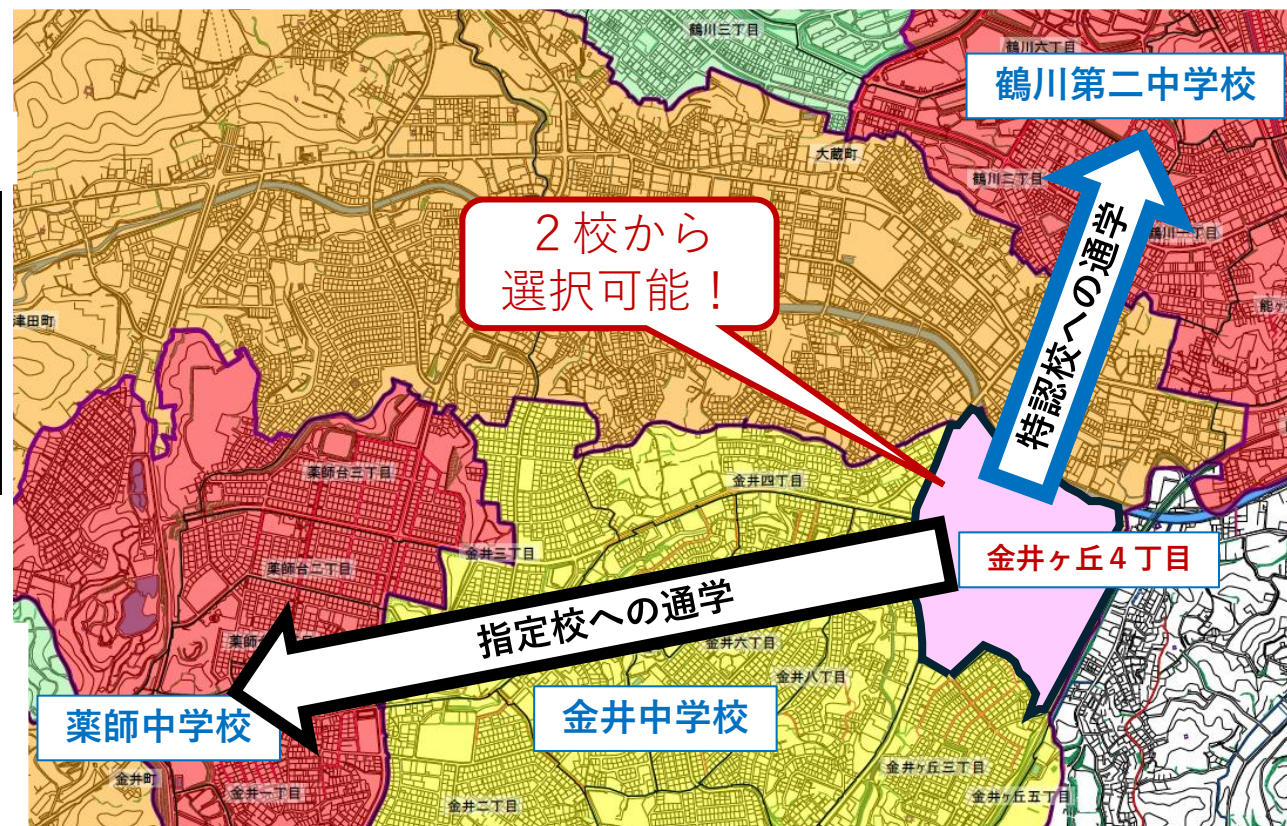
指定校まで片道2.0km以上

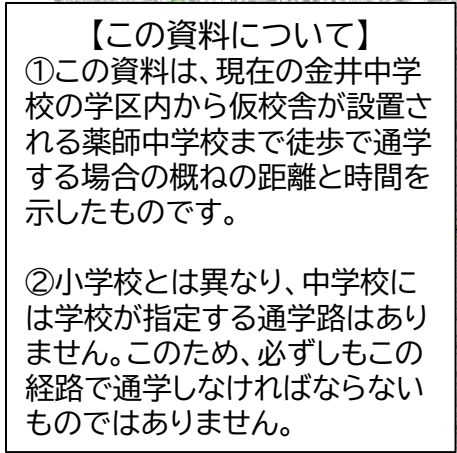
かつ

希望校まで片道2.0km未満 の場合

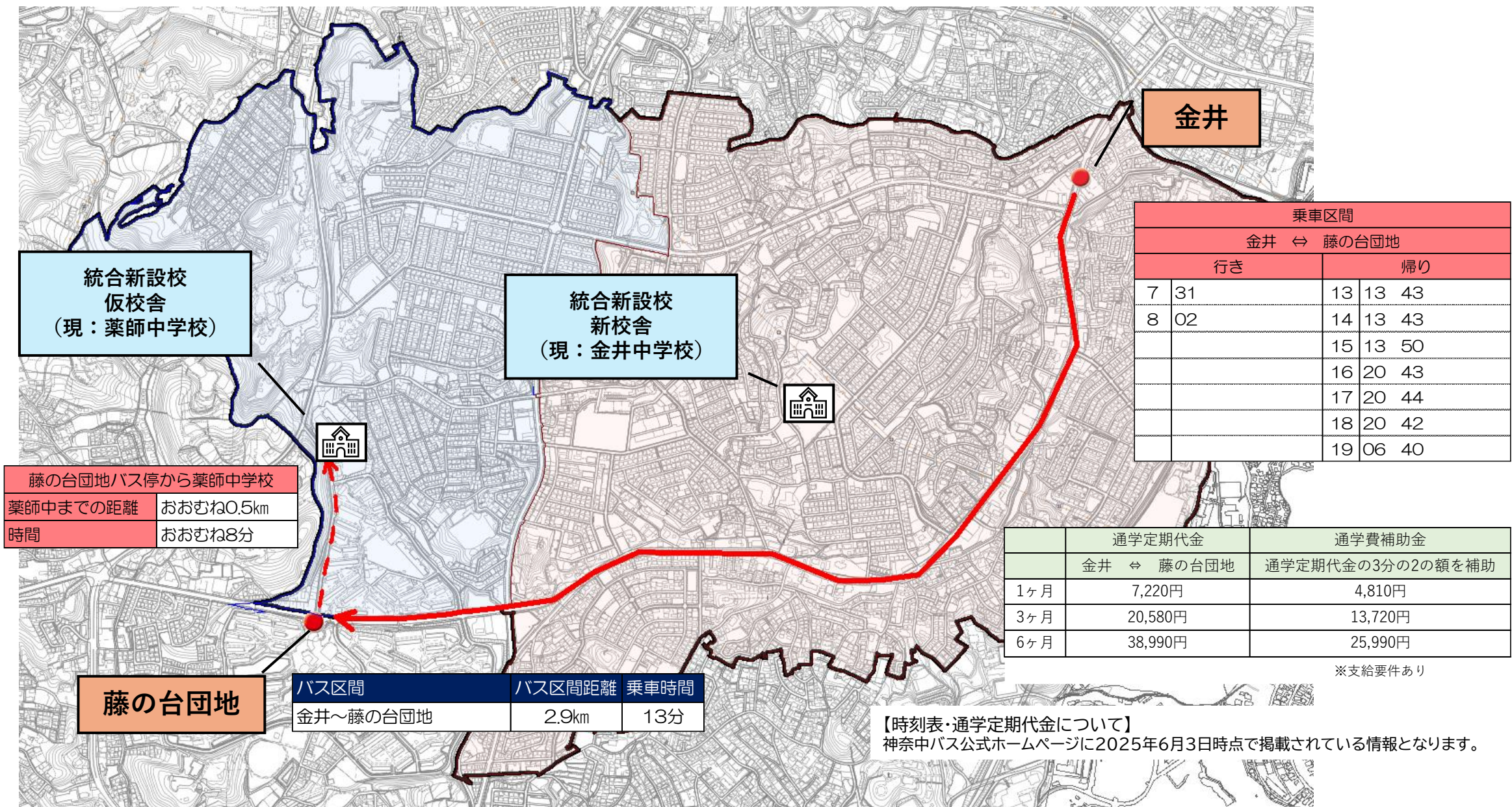


通学区域緩和制度と同じ受入枠の範囲内での受入れとなりますが、
通学区域緩和制度より優先的に入学できます。

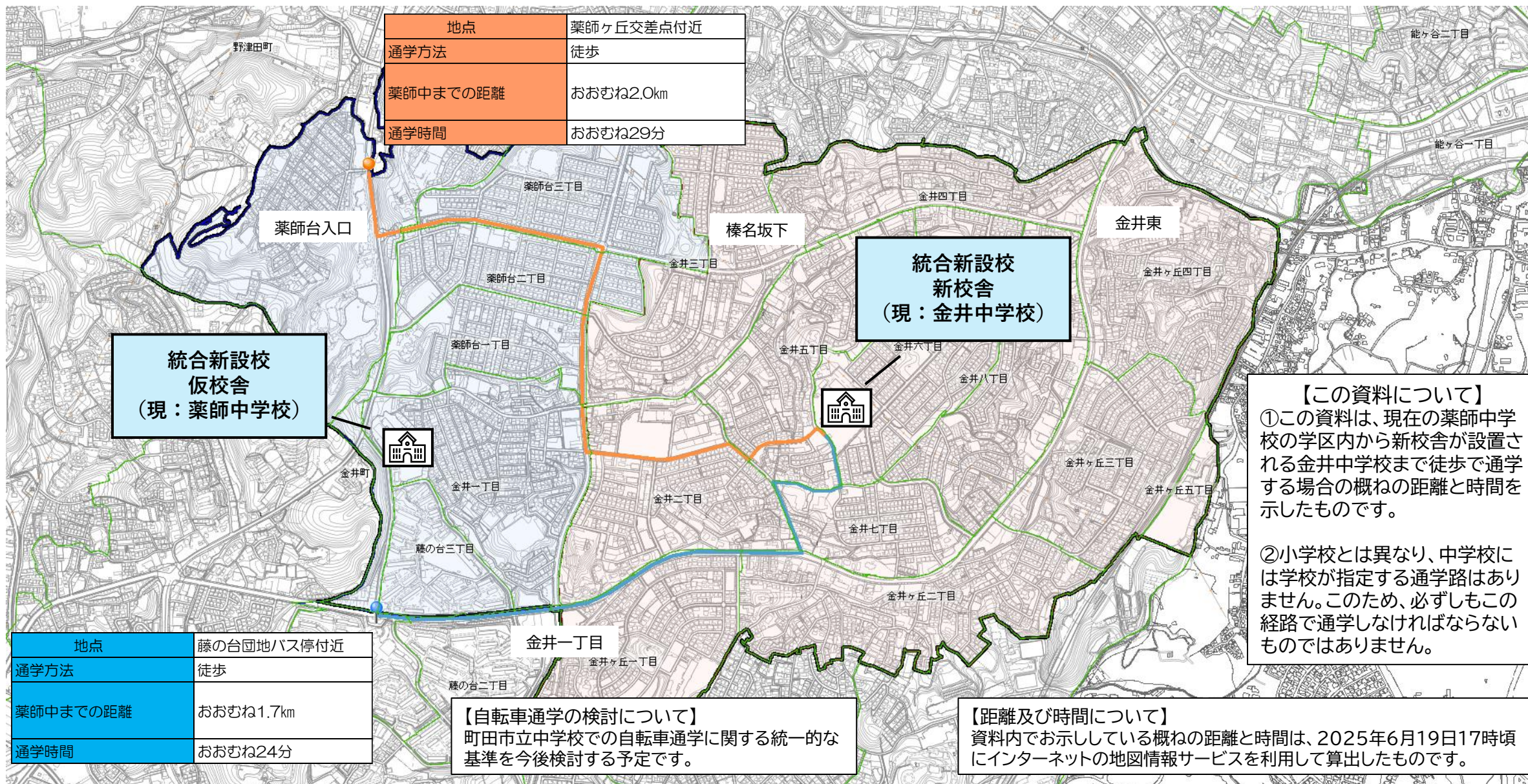




(5)統合新設校(仮校舎)の通学について (バス)



(6)統合新設校の通学について（新校舎：徒歩）



3-2 学校教育部施設課

(1) 薬師・金井地区のリニューアル工事について

リニューアル工事とは

施設の機能回復に加え、新たな学校づくりに関する機能を追加する工事

主な工事内容

【新たな学校づくりに関する機能を追加する工事】

- 教室ロッカー新設やホワイトボード、プロジェクターの設置
- ラーニングセンターや多目的室の新築工事

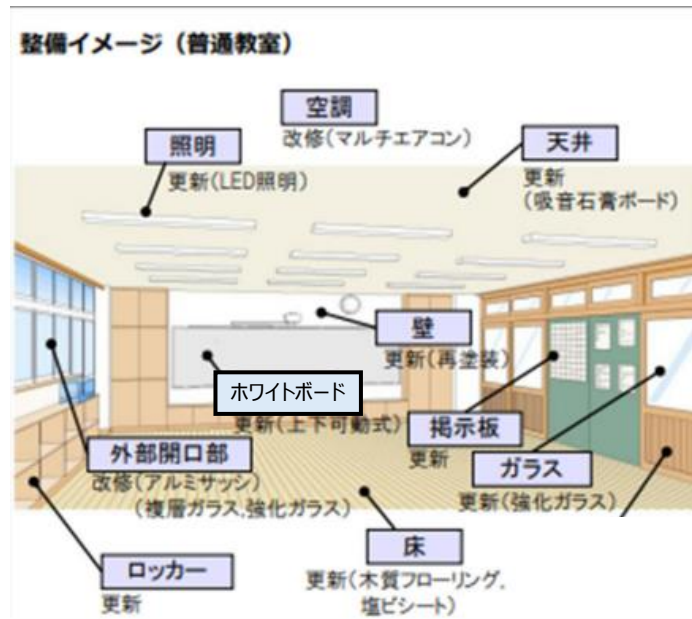
【施設の機能回復に関する工事】

- 老朽化した校舎の外装やライフライン、設備機器の更新
(例) 屋上防水、外壁改修、サッシ交換、配管設備の修繕など
- 福祉のまちづくり条例に関連した工事
(例) バリアフリー化に向けたエレベーター工事や校舎内の改修など

(1)薬師・金井地区のリニューアル工事について

既存校舎の改修事例

実際のリニューアル工事では、既存校舎に合わせ、最適な空間づくりを行います。



【老朽化した普通教室の改修例】

- 教室・廊下等の床・壁・天井改修（一部木質化）
- ホワイトボード・ロッカーなどの家具更新
- 空調・照明設備の更新

【ラーニングセンターの整備例】

- 図書室を活用しながら協働的な学習を展開することができるラーニングルームを整備

(1)薬師・金井地区のリニューアル工事について

老朽化した校舎の外装やライフライン、設備機器の更新や、教室ロッカー、プロジェクターなどを設置します。さらに、外部から校舎内に入れないようにセキュリティラインで区切ります。

リニュアル校舎

普通教室
特別教室
管理諸室など

新築棟・体育館・グラウンドを地域の方が使用できる多機能化施設として活用できるようにします。

新築棟

多目的室
ラーニングセンター

体育館

グラウンド

セキュリティライン



(2) 仮校舎（薬師中学校の校舎の使用）について

現状

新校舎のリニューアル工事期間中は、薬師中学校の校舎を仮校舎として使用します。薬師中学校の校舎は最大で18学級に対応できる普通教室と特別教室があり、知的障がい特別支援学級の教室が3教室分あります。

統合に向けて

現状の教室の使い方などを踏まえ、普通教室や少人数教室への転用工事を行います。今後、学校と協議し、**統合前年度（2027年度）**に教室転用工事等を進められるように調整をしていきます。



(3)プールの屋内化・集約化について

学校プールの教育環境の向上及びプールの設置や維持管理にかかる費用の軽減を図るため、プールの屋内化・集約化を基本的な方針として「**今後の町田市立小中学校のプール整備方針**」を策定しました。

この方針に基づき、統合新設中学校ではリニューアル工事後、プール授業の際にはバスで移動し、**鶴川中学校の温水プール**を利用します。

※プール授業で使用する学校の想定

学校名	種別	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032
金井中学校	屋外プール	既存校舎の屋外プール			廃止				
薬師中学校	屋外プール	既存校舎の屋外プール			既存校舎の屋外プール			廃止	
鶴川中学校	温水プール							温水プール使用	

3-3 学校教育部指導課

(1)成績について

現状

町田市の中学校では、**絶対評価**で成績をつけています。
薬師中学校も金井中学校も3学期制を採用しており、テスト期間も同時期に行っています。

統合に向けて

統合前から両校で指導計画や評価の規準等を可能な限り合わせていけるようにします。

(2) 教員配置について

現状

教員の人事は、教員の在校年数や経験などをもとに、町田市教育委員会が異動計画案を作成し、教員の任命権者である東京都教育委員会へ提出します。東京都教育委員会は、各自治体から提出された異動計画案を基に、教員の異動を検討・決定します。

統合に向けて

町田市教育委員会からは、統合直後の生徒の環境が急激に変わらないよう、統合元となる学校の教員をバランスよく配置できるような配慮を東京都教育委員会に要望します。



(3)標準服について

現状

薬師中学校・金井中学校ともに、制服や体操服等の学校指定品は異なります。

統合に向けて

学校統合に向け、新しい標準服を制作します。生徒や保護者からご意見を伺い、検討していきます。

※ 統合年度に第2学年、第3学年になる生徒については、標準服を含む現在の学校指定品の使用が可能です。

※ 兄弟やお知り合い等から譲り受ける「おさがり」の扱いについても検討します。



(4)部活動について

現状

活動時間は町田市部の活動方針において、平日は2時間程度となっており、活動日数については、週当たり2日以上のお養日（平日及び週休日になくとも1日）を設けることとなっています。

	薬師中学校	金井中学校
平日の活動終了時間(夏季)	18:30	18:00
平日の活動終了時間(冬季)	17:30	18:00
吹奏楽部	○	○
美術部	○	○
英語部	○	×
交流部	○	×
家庭部	×	○
科学部	×	○

	薬師中学校	金井中学校
サッカー部	○	○
軟式野球部	○	○
バスケットボール部	○	○
バドミントン部	○(女子)	○
バレーボール部	○(女子)	×
陸上競技部	○	○
ソフトテニス部	○	○



統合に向けて

両校の部活動が円滑に統合できるように、事前の交流等も含めて進めていきます。

(5)異なる学校行事・教育活動について

現状

薬師中学校・金井中学校で学校行事や教育活動などの日程や内容など異なる事があります。

統合に向けて

統合後に円滑に学校生活を送ることができるよう、事前に両校で年間の予定や学校行事を合わせていきます。



3-4 学校教育部保健給食課

中学校給食について

2025年1月から、薬師中学校・金井中学校の給食は金井スポーツ広場に完成した鶴川エリア中学校給食センターから「全員給食・食缶形式」で提供しています。

統合後も、鶴川エリア中学校給食センターから運搬し、中学生への給食を提供します。

※食缶形式とは、おかずや汁を保温性の高い「食缶」に入れて、各学校に給食を届ける方式です。



(参考) 現在の食缶形式給食

3-5 学校教育部署教育センター

(1) 特別支援教育～現状～

薬師中学校

■ 特別支援学級

知的障がい特別支援学級 3学級 19名
※2025年5月1日現在

自閉症・情緒障がい特別支援学級 なし

■ サポートルーム

拠点校の真光寺中学校より教員を派遣

金井中学校

■ 特別支援学級

知的障がい特別支援学級 なし

自閉症・情緒障がい特別支援学級 なし

■ サポートルーム

拠点校の町田第二中学校より教員を派遣

※サポートルームでは、拠点校の教員が指導にあたっています。

(2)特別支援教育～統合に向けた取り組み～

特別支援学級

- 住所に基づく地域指定校や特認校を見直し

⇒統合を見据え入学時から学校を**選択**することができます。

サポートルーム

- 両校が同グループになるよう学校間の指導グループを見直し

⇒指導体制が変わらなくなるため生徒への**影響を軽減**できます。

(3) 特別支援教育～学校統合後の想定～

薬師・金井地区統合校新設中学校

■特別支援学級

知的障がい特別支援学級 ⇒ 統合新設中学校に継続して設置

自閉症・情緒障がい特別支援学級 ⇒ 町田第三中学校への入学

肢体不自由学級 ⇒ 町田第一中学校への入学

■サポートルーム ⇒ 統合新設中学校で継続して対応

■難聴学級指導 ⇒ 町田第二中学校の教員が巡回指導

※意見交換会時点での内容であり、今後変更となる場合があります。

(4)特別支援教育についてのご意見

学校統合に際して、
特別支援学級やサポートルームに関するご不明点
等がございましたら、二次元コードからご意見をお寄せください。

ご意見はこちらから



教育センター就学相談担当
TEL:042-793-3057

3-6 防災安全部防災課

(1) 避難施設の考え方について

リニューアル工事中の金井中学校は避難施設として利用できないため、自主防災組織の皆さまとの話し合いや避難者推計の結果を踏まえ、**周辺の小中学校にて代替となる避難施設を確保**します。
また、閉校となる学校跡地には、避難施設機能を引き継いでいきます。

今後のスケジュール

- 2026年度：**自主防災組織ごとに**工事期間中の避難施設を決定
- 2027年度：新たな避難施設で避難施設関係者連絡会及び避難施設開設訓練の実施
- 2028年度：**金井中学校が避難施設として利用できなくなる**ため
周辺の避難施設に避難していただきます。

(2) 避難施設の考え方（スケジュール）について



代替避難施設（案）

2028年度～2030年度

- ・ 藤の台小学校、金井小学校、大蔵小学校、薬師中学校(地震時のみ)

今後のスケジュール

位置	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032
金井中学校	避難施設 (風水害時・地震時)			工事期間 (避難施設利用不可) ※代替避難施設への避難			避難施設 (風水害時・地震時)	
薬師中学校	避難施設（地震時）			避難施設（地震時）			学校跡地に 避難施設機能引き継ぎ	

3-7 文化スポーツ振興部スポーツ振興課

学校開放について

2028年度から2030年度までの期間、金井中学校のリニューアル工事を行うため、学校施設の利用が中止となります。そのため、**金井中学校で活動をしている団体は、活動場所を移動する必要があります。**

【市からのお願い】

- 各団体が譲り合って活動できるよう、**利用調整にご協力**をお願いします。
- 工事に伴い、学校敷地内で保管している**倉庫や物品の引き取り、整理**をお願いします。

位置	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032
金井中学校	金井中学校学校開放			学校開放利用終了			新校舎での 運用開始	
		倉庫・物品整理 活動団体利用調整						
薬師中学校	薬師中学校開放			統合新設中学校学校開放			学校開放利用終了	
		活動団体利用調整			倉庫・物品整理 活動団体利用調整			